

起案日：2025年XX月XX日

稟議書

起案部署：〇〇部

起案者：〇〇〇〇

件名：[〇〇アプリ開発プロジェクトに関する稟議]

1. 結論(要約)

[現状の課題]を解決するため、[開発するアプリの概要]を初期費用[XXX円]にて開発するものです。これにより、[期待できる効果(コスト削減や売上向上など)]を見込んでおり、承認をお願いする次第です。

2. 現状の課題と背景

現状の課題

誰が、何に、どれくらい困っているのかを具体的に記述します。定量的なデータ(時間、金額、件数など)を用いると説得力が増します。

(例: 営業担当者20名が、日報作成に1人あたり平均30分/日を費やしており、報告様式も統一されていません。)

課題による損失

その課題を放置することで、会社にどのような損失(金銭的、時間的、機会損失など)が発生しているかを記述します。

(例: 月間の日報作成時間は合計200時間に及び、人件費換算で年間XXX円の損失に相当します。また、報告の遅れにより、迅速な営業戦略の立案機会を損失しています。)

3. 目的とゴール設定

本プロジェクトの目的

アプリ開発によって何を達成したいのか、最終的な目的を簡潔に記述します。

(例:報告業務の効率化と、蓄積されたデータの営業戦略への活用)

KGI(重要目標達成指標)

目的の達成度を測るための最も重要な指標を、測定可能な形で設定します。

(例:日報作成に関する工数を6ヶ月以内に50%削減する)

KPI(重要業績評価指標)

KGI達成のための中間指標を設定します。

(例:アプリのデイリーアクティブユーザー率80%以上、データに基づいた営業会議の実施月2回)

4. 提案内容(アプリの概要)

上記の目的を達成するため、以下の主要機能を備えたスマートフォンアプリを開発します。

主要機能1

[機能の名称と簡単な説明(例:スマホ完結の日報作成・提出機能)]

主要機能2

[機能の名称と簡単な説明(例:写真の簡単アップロード機能)]

主要機能3

[機能の名称と簡単な説明(例:GPSによる訪問先記録機能)]

主要機能4

[機能の名称と簡単な説明(例:提出された日報のデータ分析・閲覧機能)]

※詳細な機能一覧は添付資料「要件定義書(案)」をご参照ください。

5. 投資対効果(ROI)

【5-1. 投資額(初期・ランニング)】

項目	金額(税別)	備考
① 初期開発費用	[XXX,XXX円]	(株)イーポート 見積もり

② 保守運用費用	[XX,XXX円/月]	サーバー代、監視保守費
初年度合計投資額	[XXX,XXX円]	① + (② x 12ヶ月)

【5-2. 期待できる効果(リターン)】

コスト削減、売上向上など、具体的な効果を金額換算で示します。

(例) 年間XXX時間の工数削減 × 担当者平均時給XXX円 = 年間XXX,XXX円のコスト削減効果

【5-3. 投資回収期間】

[初年度合計投資額] ÷ [年間のリターン額] = [約X.X年]

本プロジェクトは、約X.X年で投資回収が可能な見込みです。

6. プロジェクトの体制とスケジュール

【6-1. プロジェクト体制】

プロジェクト責任者:[〇〇部 〇〇 〇〇]

プロジェクト担当者:[〇〇部 〇〇 〇〇]

開発パートナー:株式会社イーポート

【6-2. 実施スケジュール(予定)】

フェーズ	期間
企画・要件定義	[2025年XX月～XX月]
設計・開発・テスト	[2025年XX月～XX月]
リリース・社内展開	[2025年XX月～]

7. リスクと対策

想定されるリスク①

想定されるリスクを具体的に記述します。

(例:従業員がアプリを利用しない)

対策①

上記リスクへの対策を具体的に記述します。

(例:開発段階でのヒアリング会実施、導入マニュアル作成と説明会の開催)

想定されるリスク②

想定されるリスクを具体的に記述します。

(例:開発予算の超過)

対策②

上記リスクへの対策を具体的に記述します。

(例:必要最小限の機能(MVP)で開発し、段階的に機能拡張を行う)

8. 添付資料

- 開発会社からの見積書
- 要件定義書(案)

以上